

監査報告書(監事意見書)

平成17年5月18日

社会福祉法人 諒 和 会
理事長 下 川 亨 殿

社会福祉法人 諒 和 会

監 事 内 村 保 治

監 事 三 浦 暁 美

1. 我々は、平成16年4月1日から平成17年3月31日までの事業年度における監査を、さくらの苑会議室で行い、事務長及び出納職員より事業の報告及び関係帳票類の提出を求め、一般に認められた監査基準に従って通常必要とされる監査手続を進め、また我々が必要と認めたその他監査手続を実施した。
2. 会計は福祉法人として適正に執行されており、計算書類の内容は福祉法人会計指針に従い、財産及び収支の状況を正しく示していると認める。
3. 決算にあたり、在宅介護支援センター等の経費科目を中心に、予算との差異が散見される。利用者の状況の変化等の要因により差異ゼロの決算とはなりにくいことは理解するものの、今後はできる限り詳細な決算見込み補正予算を編成され、経営にかかる収支見通しを立てられることを望む。
4. 決算上はこれまで同様の経営の健全性が確保されていると看過するが、来年度以降、介護事業関係の制度が変更されることに鑑み、委託費を中心とした経費面の効率的運用を考えることまたは計画中の収益的事業により、利用者及び職員の処遇を低下させない中での、自立的経営を確保する手法を構築する必要性を感じるものである。

以 上